

野田物語

棋士・渡辺東一（番外編①）
日記が語る
几帳面な人柄



日記を書き始めたころの東一(右)とトモ夫人(昭和35年春撮影)

東宝珠花出身の棋士・渡辺東一名譽九段の生涯を、平成18年2月1日号から同12月1日号まで、本コーナーでご紹介してきましたが、昨年、ご遺族からお預かりした数々の遺品の中に「日記」がありました。日記は、東一が54歳になって間もない、昭和35(1960)年1月1日から74歳になろうとしていた同54(1979)年10月3日までの約20年間に渡って、入院時を除いて、一日も途切れることなく、家族や弟子のこと、交友関係や将棋界のこと、さらに大きな事件や事故などの世相までもが、

大学ノート18冊にびっしりと書き綴られていました。

日記を解読する中で、さらに詳しい渡辺東一像が分かってきましたので、今回から番外編として、日記から判明した数々のエピソードをご紹介します。日記を読んで、まず驚くのは几帳面さと記憶力です。毎日の出来事のほか、その日の収入、支出を始め、電車や飛行機を利用した日は、出発、到着時間までが分単位で細かに書かれています。たとえば昭和36年5月22日の日記の最後には、「パン70タバコ380慶子の脱シ綿160マツチ



大学ノートにびっしりと書き込まれた東一の日記

クサミ消シ75アイスクリーム40白根ダンゴ126(小計)851肉60玉子72ヤサイ28魚60(小計220)合計1071」などと、その日の収支が詳細に書かれ、当時の物価を知ることにも出来ます。

また、毎日の天気も「晴」とか「くもり」といった表記だけではなく「晴なれど北風強く寒い」、「雨暖かい午后やむやや寒くなった」、「昨夜から風雨午後5時頃やむ6時頃から又降り出す」など、気温や風向きまでもが分かるように詳細に書かれている日も、多くあります。さらに、利用した電車、飛行機なども、「10時47分豊橋発で宿から車で豊橋駅へ」、「下北沢3時11分発(新宿3時5分)で陣屋へ」、「札幌12時10分のバスで1時40分発千歳で羽田へは2時50分着」など、分単位で正確に書かれ、当時の交通機関の所要時間までもが分かる資料にもなっています。

それ以上に、家族への気遣いや孫たちへの思いなどが、毎日必ずといっていいほど書かれていました。 ※文中敬称略(次号へつづく) 【資料提供】渡辺桂三氏

2月の休日当番医

休日当番医での診療時間
外科・産婦人科 = 9時～22時(ただし16時～19時は除く)
内科 = 9時～16時(19時～22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
4日(日)	門倉病院(☎7124-5311)	はたのこどもクリニック(☎7123-7121)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
11日(日)	山崎外科内科(☎7122-2359)	野田病院(☎7127-3200)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
12日(月)	西村クリニック(☎7123-0050)	奥野循環器科クリニック(☎7123-7711)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)
18日(日)	しばやま整形外科(☎7120-5355)	野田南部診療所(☎7121-0171)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)
25日(日)	小張総合病院(☎7124-6666)	新村医院(☎7138-2103)	小張総合病院(☎7124-6666)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認をしてください。


急病センター ☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時～22時(毎日)
▼歯科診療 = 9時～正午(休日)

▼8面で紹介した梅津安治さんは、実に気さくな方で、自らのボクシング人生を、冗談交じりに話してくれました▼見目はちょっと細めの好青年で、ボクサーとは思えないほど▼しかし、拳にはたくさん傷があり、右手の甲には、痛々しい手術跡も▼日本チャンピオンの偉業は、決して楽ではなかったはずですが、笑って振り返られるところに、梅津さんの人柄の良さを感じました▼3月3日の初防衛戦は、深夜にテレビ放送されるそうです▼世界に羽ばたく第一歩になってほしいと応援しようと思えます(あ)


編集後記

市の木




けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり